New　Renewal　DX 対応コース　GX 対応コース　Online　競技会　セット推奨

技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コ ー ス 名	期　　間
4408	**電気系指導員のための建築構造と工事の知識２(建築材料と施工法)**	**令和9年1月18日(月)～1月19日(火)**

開催会場	職業能力開発総合大学校(東京都小平市)	定員	日数
		10	2

研修種別	技能・技術分野	電気	技能・技術レベル	L2	技能・技術要素	電気設備設計 建築知識

研修のねらい及び到達目標	旧コース「電気系指導員のための建築構造と工事の知識」が好評でしたので、１(建築構造編)と２(建築材料と建築施工編)にコースを分けることになりました。 （到達目標） ・建築材料・施工に関する基本的な専門用語を理解できる ・主要な構造材とそれ以外の材の識別ができる ・建築構造・工事に関する主要な部位や構造・形状の名称や役割が分かる
最低限必要な知識	特になし(第二種電気工事士程度の初歩的な電気設備の知識があることが望ましい)。

研修内容	項　　目（予　定）	講義	実技・演習
	１ 建築設備のなかの電気関連設備 （１）電気設備と法令 （２）消防設備・照明・接地と雷保護	3H	
	２ 建築材料 （１）コンクリートの特徴と性質 （２）鋼材 （３）非鉄金属材料 （４）木材の性質 （５）その他の材料（ガラス・石材等）	3H	
	３ 建築施工 （１）施工計画と設計図書 （２）仮設工事 （３）土工事（山留め・支保工） （４）基礎工事 （５）鉄筋工事 （６）型枠工事 （７）コンクリート工事 （８）鉄骨工事 （９）その他	6H	
		12H	

リニューアルの概要及びアピールポイント	主に、電気工事や施工管理関係の訓練を担当されている方を受講者として想定していますが、他分野の方やこれから電気工事を担当する予定の方も参加いただけます。 好評でしたので、旧コースを「電気系指導員のための建築構造と工事の知識１（種類と構造編）」と「〃２（建築材料と施工法）」の2コースに分離しました。どちらから受講いただいてもかまいません。

研修成果が活用できる職務	職務１	職務２	職務の内容
	建築設備	ビル設備管理	電気設備管理

担当教員（予定）	五十嵐 智彦、吉水 健剛(電気設備ユニット)、外部講師
使用する機器等	テキスト
受講者が用意するテキスト（予定）	田中毅弘・西井久人 著：「合格対策 建築設備士試験 [第3版] 学科［建築一般知識・建築法規］」、地人書館、ISBN：978-4-8052-0940-0